

Ken : Hi, Jim. Where are you going?

Jim : Hi, Ken. I'm on my way home from the library.
家に帰る途中

Ken : I see. Have you had lunch yet?
〈have+主語+過去分詞 ~yet?〉もう~しましたか

Jim : No, I haven't. I'm very hungry.

Ken : Shall we go to the cafeteria? I haven't had lunch yet, either.
〈一緒に~しましょうか 〈~ not ..., either〉 ~もまた...しない

Jim : Perfect timing! Let's go.
グッドタイミング

(They go to the cafeteria.)

Ken : We can choose bread or rice at this cafeteria. I'll have rice.
選ぶ

Which do you want to eat, Jim?

Jim : Let's see I'll have rice, too.

Ken : Now, let's eat. Itadakimasu.

Jim : Oh, what did you say?

Ken : I said "itadakimasu." We use that word before eating.

Jim : That's nice. Well, itadakimasu. ... Oh, this kome is delicious.

Ken : No, Jim. We call it gohan.
〈call+A+B〉 AをBと呼ぶ

Jim : What? "Rice" is "kome" in Japanese, isn't it?

Ken : Yes. But we have different names for rice.
~に関して

For example, rice in the field is called ine. You buy kome at the rice shop.
畑, 田んぼ

When it is boiled, it's gohan or meshi.
〈ご飯を〉炊(た)く

Jim : There are many words for rice in Japanese!

Ken : Japan has a culture of eating and growing rice from ancient times.
コメを食べたり育てたりする文化 時代

So we have a lot of words for rice.

けん : やあ, ジム。どこへ行くの?

ジム : やあ, けん。図書館から家に帰る途中なんだ。

けん : わかったよ。きみはもう昼食は食べた?

ジム : まだだよ。とてもおなかがすいているんだ。

けん : カフェテリアに行こうか? ぼくもまだ昼食を食べていないんだ。

ジム : グッドタイミング! 行こう。

(彼らはカフェテリアに行く)

けん : このカフェテリアではパンかご飯を選ぶことができるよ。ぼくはご飯にしよう。

きみはどちらを食べたいの, ジム?

ジム : ええと…。ぼくもご飯にしよう。

けん : さあ, 食べよう。いただきます。

ジム : おや, きみは何と言ったの?

けん : ぼくは「いただきます」と言ったんだよ。ぼくたちは食べる前にその言葉を使うよ。

ジム : それはすてきだね。では, いただきます。ああ, この「コメ」はおいしいね。

けん : いいや, ジム。ぼくたちはそれを「ゴハン」と呼ぶよ。

ジム : 何だって? 「ライス」は日本語では「コメ」だよね?

けん : そうだよ。でもライスに関しては異なった名前があるんだ。

例えば, 田んぼにあるライスは「イネ」と呼ばれるよ。米屋では「コメ」を買うよ。

炊かれたときは, 「ゴハン」か「メシ」だよ。

ジム : 日本語にはライスに関していろいろな言葉があるんだね!

けん : 日本には古代からコメを食べたり育てたりする文化があるんだ。

だからライスにはたくさん言葉があるんだよ。

Jim : I see. But why did you call this *gohan* and not *meshi*?

Ken : Because *gohan* is a more **respectful** word than *meshi*.
ていねいな

We all know **farmers** **do their best** to **grow good rice**.
農家の人 ベストを尽くす よいコメを育てるために

We are **thankful** to them and their rice.
ありがたく思う

So we usually use *gohan* for boiled rice, I think.

Jim : Great! Rice is **one of the most important things** for Japanese.
~の1つ

Ken : That's right. Oh, I've **already finished** my bowl.
(have already+過去分詞) もう~してしまった

Jim : I've **just finished**, too. Let's **have a second helping**.
(have just+過去分詞) ちょうど~したところ おかわりをする

ジム：わかったよ。でもなぜきみは「メシ」ではなくて「ゴハン」と呼んだの？

けん：「ゴハン」は「メシ」よりもていねいな言葉だからだよ。

ぼくたちはみんな、農家の人たちがよいコメを育てるためにベストを尽くしていることを知っているんだ。

ぼくたちは彼らと彼らのコメに対してありがたく思っているんだ。

だから普通は炊いたコメには「ゴハン」という言葉を使うんだと思うよ。

ジム：素晴らしい！ ライスは日本人にとって最も大切なものの1つなんだね。

けん：その通り。ああ、ぼくはもう自分のおちゃわんを（食べ）終えてしまったよ。

ジム：ぼくもちょうど（食べ）終えたところだよ。おかわりをしよう！